学校番号	２１４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	古典探究「古典探究　古文編　漢文編」　（大修館書店）						
副教材等	最新国語便覧　（浜島書店） 重要古文単語３１５（桐原書店） 完全マスター古典文法（第一学習社） 新明説漢文（尚文出版） 錬成古典（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は、自主的かつ積極的に取り組むこと２年になると次第に難しくなっていき、授業のスピードも上がっていきます。予習・復習を確実に行いましょう。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まできっちりと取り組みましょう。授業中は板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などを自発的にメモする習慣をつけましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国語に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、主体的に文章に触れ親しむ態度を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、適切に使っている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者とかかわったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古典の特徴および基礎知識を確認する。説話・物語について学ぶ。 ［教材］ 宇治拾遺物語 古今著聞集 大和物語	a：古典作品を読む上での基本的な語句や文法・知識を身につけている。 b[　読　]：身につけた基本的な語句や文法を使って作品の読解ができる。 c：古典の世界について、自主的に深く調べるなど作品に親しもうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート など	レポート 授業プリント など
	作者のものの見方や感じ方を理解する。随筆について学ぶ。 ［教材］ 枕草子・方丈記・徒然草	a：古典世界の文化や考え方についての理解を深めている。 b[　書　]：内容や構成、展開などについて、叙述をもとに的確に捉えている。 c：積極的に文章の構成や展開について理解し、ものの考え方を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート など	レポート 授業プリント など
二学期	漢文の特徴および基礎知識を確認する。故事成語について興味・関心を持つ。 春秋左氏伝・列子・淮南子 ・孫子	a：作品を読む上での基本的な漢文の文法や知識を身に着けている。 b[　読　]：身につけた基本的な文法や漢文の知識を使って作品の読解ができる。 c：漢文の世界について、自主的に深く調べるなど作品に親しもうとしている	定期考査 小テスト	定期考査 レポート など	レポート 授業プリント など
	物語・日記・和歌・俳諧など、様々な古典文化について理解し興味・関心を持つ。 ［教材］ 伊勢物語・源氏物語・大鏡 ・更級日記・和歌・俳諧	a：古典作品における言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[　書　]：文章の内容を的確に捉えている。作品の解釈を踏まえ、他者の意見と比較することで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 c：各分野の他の作品についても、積極的に知ろうとしている。積極的に他者の意見を理解しようとするとともに、自分の考えに生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート など	レポート 授業プリント など
三学期	表現にこだわることによって登場人物の言動を的確に捉え心情を理解する。漢詩の基礎知識を確認する。 ［教材］思想 論語・孟子・荀子・老子・荘子	a：漢文作品の時代背景や漢文(特に漢詩)に対する知識を習得している。 b[　書　]：これまでに習得した知識を活用して、内容の解釈を深め、自分の考えを深めることができる。 c：これまでに習得した知識を活用して漢文を積極的に読み込み、漢文にみられる感性や考え方を学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート など	レポート 授業プリント など

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　８　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　６２　）時間